

有料被下可然哉

一 鎮臺兵諸道本分當へ出張之向へ被下方如何取計可然哉

右 廉々一定之御評議被下度候也

指令

第一條 伺之通

第二條 當人勤務スル局々ニテ受取本人ニ送遣

第三條 諸出張之儀ハ出張會計掛リ之者會計本

局ヨリ請取方可致事

第四條 書面之通

第五條 書面之通

第六條 諸出張所全断之事

前書之通相定候得共賜不賜ハ其事柄ニ依リ候儀ニ

付御布令ニテ判然ナラリル分ハ其時々可伺出事

淵盤

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

林

五年四月廿八日

隊中醫局薪炭油筆紙墨蠟燭并看病人ノ入費支辨方ヲ定ム

東京鎮臺へ達 陸軍省

兵隊一名ニ付一ヶ月金貳朱宛各隊へ相渡来リ候ニ
 付隊中医局薪炭油筆紙墨蠟燭并ニ看病人之入費且
 ツ病兵ヲ隊ヨリ軍医寮へ差送り又病疴ニヨリ帰
 隊為致候入費共総シテ隊ニ於テ前條渡金之内ヨリ
 差出可申事 衆規 浦 鋸